

ふと気がついてみると、  
もう、昔の僕ではなかった。

新しい男に、  
生まれ変わったのだ

死と  
恋と  
自分

太宰治 原作

# パンドラの匣

監督・脚本・編集:富永昌敬 音楽:菊地成孔

染谷将太 川上未映子 仲里依紗 窪塚洋介

ふかわりょう 小田豊 杉山彦々 KIKI (友情出演)・洞口依子 ミッキー・カーチス

プロデューサー:西ヶ谷寿一 大野敦子 撮影:小林基己 照明:藤井貴浩 美術:仲前智治 監音:効果:バードン木村 スタイリスト:小麗和代  
ヘアメイク:樺清恵 録音:高田伸也 助監督:久保朝洋 制作担当:中村哲也 仕上監修:田巻源太  
配給:東京テアトル 宣伝:ミラクルヴォイス 制作協力:バレード 制作プロダクション:ユーロスペース  
『パンドラの匣』製作委員会(東京テアトル/ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメント/シネグリーオ/バレード/GIP/河北新報社/仙台放送)  
2009/日本/35mm/アメリカンヴィスタ/カラー/DTSステレオ/94分 ©2009『パンドラの匣』製作委員会

pandoranohako.com



太宰治の一番ポップな青春小説、キラキラとあざやかに完全映画化!



意表を突いた  
キャストイングが、  
見事にハマった!

ナイーブゆえにちよつと肩に力が入ったひばり役は、オーディションで主役を勝ち取った期待の16歳! 染谷将太、恋に恋する若者を瑞々しく演じている。ひばりをひいきにしてくれる看護婦長、竹さん役は、映画初出演! の芥川賞作家の川上未映子。堂々たる演技を見せてくれた、何かとひばりに小悪魔な行動を取りがちな看護婦、マア坊役は、仲里依紗。素で演じているのでは? と錯覚するほど自然な演技だ。ひばりの目上の親友で詩人のつくし役は、圧倒的な存在感を放つ窪塚洋介が凛々しく演じている。

その他、ふかわりよう、小田豊、杉山彦々、KIKI、そして洞口依子、ミッキー、カーチスと、演技派・異業種・富永組を取り混ぜたキャストイングは成功。全ての役が見事にハマっている。

**終戦直後。**  
青年は、恋と友情と未来に  
悶々としながら、「新しい男」をめざす。

2009年、太宰治(1909-1948)は生誕100年。とはいえ、今なお新しい読者を獲得し続けている。「現役」の小説家である。今年から来年にかけて、太宰を原作とした映画が立て続けに公開されるものの、若き天才監督! 富永昌敬(「ハビリオン山椒魚」)が選んだ「パンドラの匣」(46)は、ズバ抜けて異質だ。

日本が太平洋戦争に負けた年、結核療養のため山里の健康道場に入った青年・ひばりは、年齢や境遇も異なるキャラの立った仲間たちに囲まれ、「新しい男」になることを目指す。竹さんとマア坊——生命力に溢れた二人の看護婦さんへの甘酸っぱい気持ちや、結核による突然の仲間の死など、日々の心の揺れを、親友宛ての手紙にこまめに書き続ける。しかし、ひばりの、「この世に不幸をまき散らしたパンドラの匣の隅に、「希望」の文字が書かれていた小さな石を見つけた」というギリシア神話に通ずるポジティブな世界観は変わらない。そう、「パンドラの匣」は、太宰のサニーサイドなのだ。



オール・アフレコをはじめ、  
美しく凝りまくった映画術。

今回、特筆すべきは、同録の時代に、昭和の文芸映画よろしくオール・アフレコに挑戦したこと。ナレーションで表現されるひばりの手紙や、耳なじみのない昭和20年代ならではの言い回しのセリフなど、富永が太宰の原作を生かした部分が、際立つ結果となった。

音楽は「ハビリオン山椒魚」に続き、監督と互いに敬愛し合う菊地成孔が担当。美術は、あの頃、モダンであった健康道場の雰囲気再現するために、廃校をうまく利用。ベッドを特注するなど、ディテールまでこだわった。衣装は、若い世代に人気のシアタープロダクツが担当。看護婦たちの衣装は、あえて時代考証をハズして可愛さを優先するなど、おしゃれな遊び心が楽しい。

脚本も手がけた富永監督は「ひばりの自意識過剰な手紙は、今のブロガーのノリツッコミと同じだ」、「死と隣合わせにいながらも、お互いアダメと呼び合う世間から隔絶した健康道場はある意味、ユートピア、学園モノと捉えてよいのでは?」、現在の感性で鋭く解釈、今読んでも面白い小説を、21世紀ならではの青春映画として甦らせた。

川勝正幸(エディター)



太宰のサニーサイドが、生誕100年に青春映画として甦る!



監督・脚本・編集: 富永昌敬(「亀虫」) / 「ハビリオン山椒魚」 / シェリーの「電話大生」 / 原作: 太宰治「パンドラの匣」(新潮文庫刊) / 音楽: 菊地成孔 / 撮影: 小林泰巳 / 照明: 藤井貴浩 / 美術: 仲前智浩  
出演: 染谷将太 / 川上未映子 / 仲里依紗 / 窪塚洋介 / ふかわりよう / 小田豊 / 杉山彦々 / KIKI(友情出演) / 洞口依子 / ミッキー / カーチス  
製作: 東京テアトル / ジェネオン・ユニバーサルエンターテインメント / シネグリーオー / バレード / GIP / 河北新報社 / 仙台放送 / 配給: 東京テアトル / 宣伝: ミラクルヴォイス / 制作協力: バレード / 制作: プロダクション・エンターテインメント・スペース  
2009 / 日本 / 35mm / カラー / アメリカン・ヴィスタ / DTSステレオ / 94分 © 2009「パンドラの匣」製作委員会

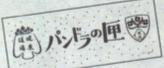
pandoranhako.com



10/10(土)よりロードショー

特別鑑賞券1,500円(税込) 絶賛発売中! (当日一般1,800円(税込)のところ)

劇場窓口でお買い求めの方に(シアタープロダクツ)オリジナルデザインの手ぬいぐいをプレゼント(先着限定・数量に限りあり)



新宿駅東口 伊勢丹メンズ館隣 B1F 全席指定・各回入替制

テアトル新宿

TEL: 03(3352)1846 www.cinemabox.com

